

## 役職員が農業法人を訪問して情報交換

当JAの役職員が地域農業の担い手となっている農業法人を訪問し、様々な情報交換を行いながら課題共有を図っています。

稲刈りを目前に控えた9月上旬には、常勤役員と金融共済部、営農経済部や管轄支店の職員が農業法人の代表者を訪れ、農産物の生育状況や農作業での悩み、機械設備の導入など、多岐にわたる話題を話し合いました。

農業法人からは「以前に購入した大豆のコンバインやライスセンターの修理が課題になっている」「米価や需要をふまえて、今後作付けする品種を検討していきたい」といった声が上がったほか、JAへの要望などもいただきました。

農業法人のライスセンターや作業所なども視察し、農作業の効率化などについても意見を交わしました。

- 1 今年産の生育状況などを話し合いました
- 2 今後の栽培計画や法人運営を話す参加者
- 3 ライスセンターを視察する役職員



2



3



1

## NEWS & TOPICS

### 来年度用予約注文書で取り扱う肥料・農薬を選定

8月25日(水)、令和4年度用予約注文書の品目選定会議がJA秋田なまはげ会館で開かれ、JA全農あきたと当JAの営農経済部、経済課、各グリーンセンターや営農センター、担い手支援室の役職員が参加しました。効果の高い肥料や農薬の安定供給と生産コストの低減のため、来年度用の予約注文書で取り扱う商品について話し合いました。

参加した役職員は、今までの供給実績と現在の在庫数を商品ごとに確認しました。メーカーからの供給量の見通しや価格、各商品を施用したときの効果などもふまえて肥料や農薬を選定したほか、新商品の情報交換も行われました。

肥料と農薬の在庫数や効果的な商品を話し合いました



### 北陽小の児童が中石梨選果場を見学

男鹿市内の小学生が、地域の特産物や流通を学ぶ社会科見学の一環で、当JAの中石梨選果場や男鹿市五里合の梨の園地を訪れています。

9月3日(金)には男鹿市立北陽小学校の3年生10名が同選果場を訪れ、収穫した梨がどのように選別や箱詰めなどをされて、市場へ出荷されるのかを学びました。児童は梨を見て「甘い匂いがする」「食べたいね」と話し合ったり、選果場内の機械設備に驚いたりしながら、レポートに一生懸命書き留めました。管内で栽培されている品種や出荷先などの質問も上がりました。児童は梨の園地やスパーなども見学し、特産の「男鹿梨」への理解を深めました。

梨の選果作業を見学する児童

